



歯舞地区マリンビジョン協議会事務局では、地域協働の取り組みにより作られた『歯舞地区マリンビジョン計画(平成19年3月策定)』の行動計画について、個々の推進状況など、活動の様子について「歯舞地区マリンビジョンニュース」を発行して、地域の皆様方にお知らせしています。

発行・編集：歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

平成23年度歯舞マリンビジョン協議会の専門部会を開催

前号でお知らせしましたとおり、4月に平成23年度「第1回歯舞地区マリンビジョン協議会」が開催され、今年度の事業計画が決定しました。

これを受けて、7月11日(月)歯舞漁協役員室にて専門部会が開催されました。漁業経営専門部会と漁村交流専門部会の合同、地域ブランド化専門部会と衛生環境専門部会の合同で行われ、部会員ら約40名が参加、今年度の取り組み方針の再確認と具体的な取り組み方法について協議しました。

主な取り組みについては、下記のとおりです。

第5回「歯舞こんぶ祭り」・・・8月28日(日)歯舞漁港屋根付き岸壁で開催します。

歯舞市場食堂開設に向けて、一般客に「紅鮭」・「かこの鉄砲汁」等を試食してもらい、アンケート調査を実施します。

アサリの潮干狩り事業・・・今年度は4日間限定で一般客向けに有料で実施予定です。

歯舞水産物等の「ブランド品の販売促進事業」として、**札幌圏でのPR活動**を展開していきます。



< 専門部会の様子 >

今年度の目玉事業であるアサリの潮干狩り事業は、「歯舞半島の潮干狩り」とイベント名も決定しました。実施日は7月30日(土)、31日(日)、8月13日(土)、14日(日)、1日80人限定で参加料は中学生以上1,000円、小学生以下500円です。8月開催分については2日前まで参加を受け付けておりますので、皆さんふるってご参加下さい。(問合先：歯舞漁協潮干狩り係 0153-28-2125)

また、7月に完成した歯舞漁港屋根付き岸壁が8月より供用開始となり、今年の「歯舞こんぶ祭り」は当岸壁を利用したイベントの第一弾となります。皆さんで力を合わせて盛り上げていきましょう!

歯舞半島の潮干狩り

熊手・バケツ無料貸し出し！
 手ぶらでどうぞ!!

【期 間】 成人(中学生以上) 1,000円、小学生以下 500円
 歯舞バケツ貸出(歯舞バケツ貸出2枚まで) 無料
 熊手無料貸出

【潮干狩り会場】 橋本漁港(アサリ専用) 橋本漁港(アサリ専用) 橋本漁港(アサリ専用)

【アサリ】 産地直産アサリ(アサリ専用) 産地直産アサリ(アサリ専用) 産地直産アサリ(アサリ専用)

【お申し込み】 電話予約受付、完全予約制(申込5日前)に申し込み、申込締め切り(申込締め切り)までにお申し込みください。

【開催日時】 7月30日(土)・31日(日)、8月13日(土)・14日(日) 各1日80人限定

【お 申 込】 電話・インターネット上より、開始・終了時刻が変更及び中止する場合はお申し込みの日に、手紙にてお願いいたします。

主催 歯舞地区マリンビジョン協議会
 協賛 歯舞漁協 歯舞漁協潮干狩り係 歯舞漁協潮干狩り係 歯舞漁協潮干狩り係
 協賛 歯舞漁協潮干狩り係 歯舞漁協潮干狩り係 歯舞漁協潮干狩り係

お問い合わせ先 歯舞漁業協同組合 漁業部 潮干狩り係
 TEL 0153-28-2125 FAX 0153-28-2320

< 「歯舞半島の潮干狩り」
 新聞折り込みチラシ >

< 地域マリンビジョン推進会議 会場の様子 >



7月20日(水) 平成23年度「第1回地域マリンビジョン推進会議」が開催されました。

会議の第一部では東北地方大震災からみた地域防災のあり方や六次産業化、水産資源の動向、水産物の需給と流通

動向などについて講演がありました。第二部では「北海道水産業・漁村の持つポテンシャルと今後の展望」をテーマに掲げてパネルディスカッションが行われました。コーディネーターは『公立はこだて未来大学 長野章 名誉教授』、パネリストとして参加したのは『歯舞漁協 伊藤康彦 常務理事』『北海道大学大学院水産科学研究院 桜井泰憲 教授』『東京海洋大学海洋科学部海洋政策文化学科 婁小波 教授』の三名です。伊藤常務理事は、「地域マリンビジョンの取り組み状況と今後の方向性」と題して話題提供しました。

その中で伊藤常務理事は、「漁村が将来残っていくためには、健全な漁業に加えて、地域に人が集まり、若手が残り、暮らしたい漁村を目指す努力を続けることが重要で、それこそがマリンビジョンである。無いものねだりではなく、地域の特性を活かして、有るもので勝負することが重要。将来この漁村を残したいのならば今から真剣に取り組まなければならない。歯舞は今でもよい地域だと思うが、なお一層、地域ぐるみの努力を続けることで、将来に活気ある漁村を残すことができるのではないか。」と力強く話しました。



また、防災・減災については、漁民への防災無線の体制を構築するなど、すでに対策はとっていることを述べ

つ、防災は難しいが『減災』は可能だと思うので、今後さらに対策に努めていきたい考えを示しました。

< パネルディスカッションの様子 >

編集・発行・お問い合わせ

編集・発行

歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

お問い合わせ

事務局 担当：根室市水産経済部水産港湾課水産振興担当

電話：0153-23-6111 FAX：0153-24-8692

